

すぐに使える Windows 7

画面はWindows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimateを対象にしています。Windows 7 Starterの場合、表示が変わる部分があります

第5回 ソフトの追加と削除

戸田 覚=ビジネス書作家

仕組みを理解し、ソフトを正しくインストール

●ソフトをインストールすると3つの処理が行われる

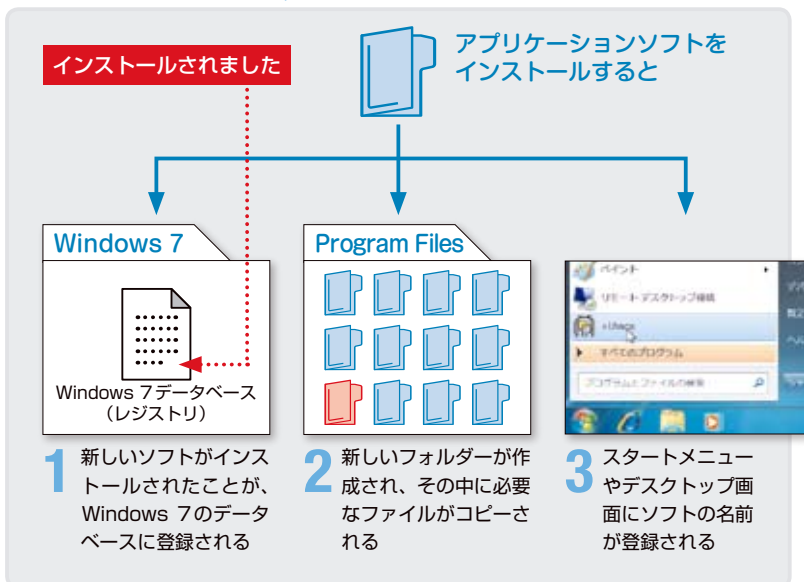


図1 インストールを実行すると、まずWindows 7のデータベース(レジストリ)に新しいソフトを登録し、続いて「Program Files」内に専用フォルダーを作って、必要なファイルをコピーする。さらに、スタートメニューやデスクトップ画面に、新しいソフトの名前を登録する

●オンラインソフトも身近な存在に

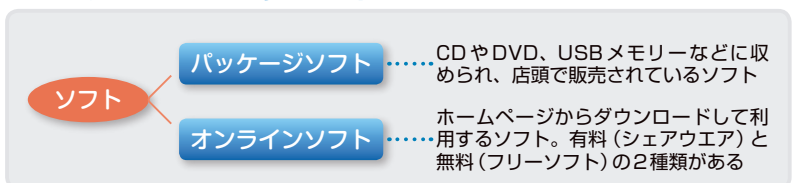


図2 ソフトにはCDやDVD、USBメモリーで提供されるパッケージソフトと、Webで入手できるオンラインソフトがある。また、最近はパッケージソフトもダウンロードしてインストールするタイプが増え、それぞれの境目がなくなりつつある

●オンラインソフトをダウンロードしてインストールする

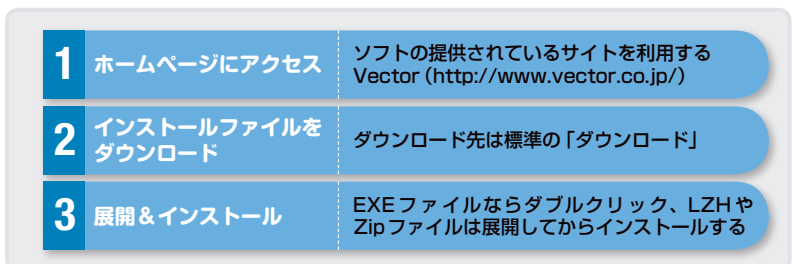


図3 オンラインソフトは、圧縮されたプログラムをダウンロードし、展開して利用する。LZHだと展開用のプログラムが必要だが、今回その利用手順を紹介する

新しいソフトを利用するには、まず「インストール」する必要がある。ここでは、ネットからダウンロードしてすぐに使えるオンラインソフトのインストール方法を説明する。最近では、多くの有名ソフトもダウンロードで利用できるようになってきているので、参考にしてほしい。また、正しい削除の手順も解説していく。

ソフトを利用するには、最初にパソコンに登録する作業「インストール」が必要だ。買った状態のパソコンで使えるソフトは、すでにインストールされた状態にあるわけだ。逆に、不要なソフトを削除する「アンインストール」と併せてパソコンを操作する基本中の基本作業だ。

ソフトをWindows 7にインストールすると、図1のように、大きく分けて3つの処理が行われる。プログラムファイルのコピーだけでなく、「レジストリ」にファイルの情報が登録されるのだ。レジストリとは、Windows 7がソフトや周辺機器の情報を管理する台帳のようなものだ。さらに、スタートメニューへの登録やデスクトップのアイコン作成、ファイルの関連付けなどがまとめて行われる。ユーザーの目からは、何が行われたかは分からず、ファイルのコピーが終われば使えるように思えるだろう。

ソフトが不要になった場合に、単にコピーされたと思われるファイルを削除しても、不完全なのはこのためだ。いらないソフトを消すためには、Windows 7の機能で「アンインストール」する必要がある。よく理